

「情報モラル教育の基礎」 ～情報ネットワークの安全な活用～

さいたま市立日進中学校

1 ねらい

- (1) インターネットを利用した情報収集および活用において、それらの情報の信用性の判断力を身につけさせる。
- (2) 著作権について知らせる。
- (3) 携帯電話やスマートフォン等を安全に正しく使う力を身につけさせる。

2 指導計画

- (1) 2学年 「ネットワークと情報の収集」 技術・家庭科
○ネットワークの危険性と安全対策の必要性を知る。
○情報を扱う際のルールやマナーなどのモラルの必要性を知る。
- (2) 全学年 「携帯・インターネット安全教室」 1学期 全校一斉
- (3) 「インターネットを利用した調べ学習」 授業、総合的な学習の時間など

3 実践例

「携帯・インターネット安全教室」

4月23日(土)

全校生徒



全学年を対象に、携帯・インターネット安全教室を実施しました。

講師の埼玉県警サイバー対策課担当者による、啓発DVDの視聴と具体的な事例をもとにした講義で、普段は安易になんとなく利用している携帯やインターネットに、いままで以上に注意を払わねばならないことを全校生徒で学びました。

4 成果と今後の課題

情報セキュリティに関するアンケートをひとクラス抽出して集計した結果から、「インターネットを安全・安心に利用するためにはどのようなことが必要だと思いますか」という質問に対して選んだ選択肢の割合は次のような結果になりました。

- (1) 家庭で使い方を教えてもらうこと 42%
- (2) 学校で使い方を教えてもらうこと 21%
- (3) 家庭でインターネット利用のルールを作ること 51%
- (4) 学校でインターネット利用のルールを作ること 18%
- (5) 本人が防犯意識を高めること 87%
- (6) 警察が犯罪を取り締まること 33%
- (7) フィルタリングを使うこと 60%

本人の防犯意識を高めることが高い割合になっていることから取り組みの成果が見られる。

しかし、「インターネット上で知り合った人と実際に会うことをどう思いますか」という質問に対してはその多くは「会わないほうが良い」と答えているものの「会いたければ会っても良い」との答えもわずかにあり、今後も技術・家庭科の授業に限定せず道徳、特活、総合的な学習の時間等の時間も活用し、保護者の協力も得ながら全校体制で情報教育のさらなる充実を図りたい。